

みよし風土記の丘ミュージアム 10・11月の行事案内



みよし風土記の丘にある「浄楽寺・セツ塚古墳群」。
霧の中から聞こえてくる古墳のささやき。
耳を澄ませば、太古からのメッセージがよみがえる。
「こふん」ってナニ？ 何で「ここ」にあるの？
学び、推理しみんなで古墳の謎とき探検をしよう。



特設サイトはこちらから↑

展示会の主旨

みよし風土記の丘を構成する史跡浄楽寺・セツ塚古墳群と広島県内の古墳について、小中学生を主な対象とする展示を行い、風土記の丘の価値と県北地域の古代の歴史への関心を呼び起こす機会とする。

- 会 期** 令和7年10月3日（金）～11月24日（月・休）
休館日 月曜日（ただし10月13日（スポーツの日）、11月3日（文化の日）を除く）、10月14日（火）、11月4日（火）
- 会 場** 当館 企画展示室（三次市小田幸町122）
- 展示資料** 古墳模型、広島県内の古墳から見つかった資料 約270点ほか
- 入 館 料** 一般700円（560円）、高校・大学生520円（410円）、
小・中学生350円（280円） ※（ ）内は20名以上の団体料金

5 関 連 行 事

(1) 記 念 講 演 会 「古墳とは何かー古墳の葬送儀礼ー」

日 時：10月25日（土）13：30～15：30

講 師：和田 晴吾さん（立命館大学名誉教授）

会 場：当館研修室（三次市小田幸町 122）

定 員：100 名

参加費：無料（展示の観覧には、別に入館料が必要です。）

申込み：当日受付

(2) 記 念 座 談 会

『史跡浄楽寺・セツ塚古墳群』～みよし風土記の丘を未来に残していくために～

日 時：11月15日（土）13：00～16：30

会 場：当館研修室（三次市小田幸町 122）

定 員：100 名

参加費：無料（展示の観覧には、別に入館料が必要です。）

申込み：当日受付

(3) 風土記の丘探検ツアー

日 時：開催期間中の毎週日曜日（10月5日、10月19日を除く）13:00 出発

解 説：当館学芸員

会 場：みよし風土記の丘（三次市小田幸町 122）

参加費：無料（展示の観覧には、別に入館料が必要です。）

その他：雨天中止の場合には、企画展の展示解説会を開催します。

(4) ふどきの丘 古墳まつり

日 時：10月19日（日）10：00～15：30

会 場：みよし風土記の丘（三次市小田幸町 122）

内 容：勾玉づくりなど

参加費：無料（材料費が必要な場合があります。）

申込み：当日受付

(5) 展 示 解 説 会

日 時：10月5日（日）13：30～14：30

11月3日（月・祝）13：30～14：30

解 説：当館学芸員

会 場：当館企画展示室（三次市小田幸町 122）

参加費：無料（別に入館料が必要です。）

■ふどきの丘体験教室 3

「こふんの森たんけん②秋のネイチャーゲーム」

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 日 時 | 令和7年10月19日（日）13：30～15：30 |
| 2 | 指 導 | 広島さとやまシェアリングネイチャーの会 |
| 3 | 内 容 | ふどきの丘は、こふんと自然が調和する「こふんの森」です。
こふんの森で、思いっきり自然を感じながら、ネイチャーゲームを楽しみませんか？ |
| 4 | 定 員 | 30名（事前申込み・先着順） |
| 5 | 対 象 | どなたでも（小学生以下の場合は保護者同伴） |
| 6 | 会 場 | みよし風土記の丘（三次市小田幸町122） |
| 7 | 参 加 費 | 500円 |
| 8 | 申 込 み | 事前申込み |

住所・氏名・年齢・電話番号・同伴保護者の氏名を記入の上、次のいずれかの方法で申し込んでください。

①はがき

〒728-0624 三次市上田町388 NPO法人ほしはら山のがっこう宛て

②応募フォーム

当館HP（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekimin/>）

または、

ほしはら山のがっこうのHP（<https://www.hoshihara.org/>）から入力してください。

- | | | |
|---|-------|-------------------------------------|
| 9 | そ の 他 | 雨天の場合には、会場が資料館研修室に変更となりますので御注意ください。 |
|---|-------|-------------------------------------|

■風土記の丘ギャラリー

風土記の丘ギャラリー



1970年代後半、当時の国鉄は普通列車に運用する一般型気動車の塗装を朱色に変更しました。首都圏から試行的に実施されたことから、首都圏色と呼ばれます。

JR 化後の一時期、県北の車両も他の色に換えられましたが、2010年頃から再び朱色に改められています。40年前と現在の対比を御鑑賞下さい。

- 会 期** 令和7年7月25日（金）～10月13日（月・祝）
休館日 月曜日（ただし、10月13日（スポーツの日）を除く）
- 会 場** 当館 風土記の丘ギャラリー（三次市小田幸町 122）
- 入 館 料** 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般 200 円（160 円）、大学生 150 円（120 円）、高校生以下・65 歳以上無料
※（ ）は 20 名以上の団体料金

「暮らしと道具のうつりかわり」

～なつかしい暮らしの道具たち～

衣・食・住の道具は、その時代ごとの暮らしや社会の姿を物語っています。時代とともに道具が姿を変えたり、役割を終えていった様子を紹介します。

- 会 期** 令和7年10月31日（金）～12月27日（土）
休館日 月曜日（ただし、11月3日（文化の日）、11月24日（振替休日）を除く）、11月4日（火）および11月25日（火）
- 会 場** 当館 風土記の丘ギャラリー（三次市小田幸町122）
- 入 館 料** 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般 200 円（160 円）、大学生 150 円（120 円）、高校生以下・65 歳以上無料
※（ ）は 20 名以上の団体料金